



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒3・1~10  
キリストの名による歩み  
ナザレのイエス・キリストの名  
によって立ち上がり、歩きなさい。  
使徒3・6

目標

キリストによって力強く生きて  
生きる。

## 10月2日(日)

聖書  
聖句

使徒3・6  
ナザレのイエス・キリストの名に  
よって立ち上がり、歩きなさい。

6節

弱虫だったはずのお弟子さんたちが、力  
いっぱい神様のために働けたのは聖霊がプレ  
ゼントされたから、というお話、おぼえてる？  
聖霊がいっしょにいるということは、イエス  
様といっしょにいるということ、イエス様の声  
を聞いて、イエス様のわざを行うようにされ  
るということです。

イエス様の声というのはね、みんなが弱さの  
中から立ち上がって喜びでいっぱいになって、  
ほかのだれかにも、その喜びをバトンタッチ  
していくことなんだよ。

いの  
祈り

天のお父様、わたしも立ち上がって、喜  
びをバトンタッチしていただけますように。

## 10月3日(月)

聖書  
聖句

使徒3・1~2  
ペテロとヨハネは、午後三時の祈り  
の時間に宮に上って行った。すると、  
生まれつき足の不自由な人が運ばれ  
て来た。  
1~2節

信仰にもテストがあるって知ってる？

それはとつぜんやってくるけれど、テストに  
合格できるかどうかは、神様とあなたがいつも  
どんな関係でいるかがとても大切なのです。

毎日の生活の中で「イエス様ならどうされる  
だろう？」と考えるようにしてみてください。

ペテロは、イエス様が十字架にかかるとき、  
3回もイエス様をしらないと言った人だったね。  
でも聖霊を受けたペテロは前の弱いペテロで  
はなかったよ。

いの  
祈り

天のお父様、信仰のテストに合格できる  
聖霊の力を与えてください。

## 10月4日(火)

聖書  
聖句

使徒3・3~5  
ペテロは、ヨハネとともにその人を  
見つめて、「私たちを見なさい」と  
言った。  
4節

ペテロとヨハネが出会ったのは、生まれてか  
ら一回も立ったことのない人でした。いつも  
美しの門の前に、物のように置いてもらって  
お金をもらうことしかできない、そんな人。こ  
の人の前を通りすぎて行く人たちは、きっとこ  
の人を「かわいそう」「きたないこじきだな」、  
というふうにしから見られなかっただろうね。で  
も、ペテロとヨハネはちがったよ。

イエス様が、罪人や、病気のの人を見つめる、  
信仰の目、イエス様の目で見つめたんだね。

イエス様の目で見るとき、その人が本当に  
必要なもの、自分に何ができるかがわかるよ。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の目で人や物ごと  
を見られるように助けてください。

## 10月5日（水）



使徒3・4~5

「私たちを見なさい」

4節

「わたしを見て！」っていうときは自分がめだちたいときや、気にしてほしいときだね。聞かれた人も「何？ 何かくれるの」なんて、わくわくするよね！ でも、ペテロたちの「見なさい」はちがうみたい！

ペテロたちは、イエス様から、イエス様の愛、赦し、本当の喜びや信仰…たくさんのもをもらいました。だから、きっとイエス様からもらったものをあげたかったんだね。そして、神様にはできないことはないことを教えてあげたかったんだね。

わたしたちも、イエス様からもらったものをだれかに見せられるようになりたいね！

いの祈り

天のお父様、自分のものではなく、イエス様からもらったものをだれかに見せることができますように。

## 10月6日（木）



使徒3・6

金銀は私にはない。しかし、私にあるものをあげよう。 6節

ペテロは、自分のことをよく知っている人だったと思うよ。イエス様が十字架につくときにうそをついてにげちゃった、弱くてかっこわるい人間だって。でも、ただの漁師だった、弱いダサイ自分でも、だれにも負けない宝ものがあることがわかったの。それはイエス様！！

聖霊を受けたとき、イエス様が心の中に住んで、はげまし、勇気づけ、福音を伝える力や知恵になってくれることがわかったんだ！

あなたの心には、イエス様がいますか？

イエス様がいるならば、どんなことにも負けないで、何度でも立ち上がれるんだよ！

いの祈り

天のお父様、宝もののイエス様を心にもらって、どんなことにも負けないわたしでいたいです。

## 10月7日（金）



使徒3・7~8

歩いたり飛び跳ねたりしながら、神を賛美しつつ二人と一緒に宮に入って行った。 8節

足の不自由な男が、イエス様のお名前です歩くよう命じられると、あらフシギ！ 足がみるみる元気になってびよ～んと立ちあがったのです！ そして、神様を心からさんびし、れいはいをしに行きました。「イエス様のお名前」とは、イエス様ご自身のこと。男の人はその日をすぞす「お金」をもらうつもりだったのに、「イエス様ご自身」をいただいたのです！

イエス様をいただくことが、人をこんなに元気にすること、神様をれいはいする生活にすることがよ～くわかるおはなしだね。

いの祈り

天のお父様、イエス様をいただいて元気いっぱいになり、あなたのすばらしさをもっとわかる生活をできますように。

## 10月8日（土）



使徒3・9~10

彼の身に起こったことに、ものも言えないほど驚いた。 10節

イエス様のしてくださることは、いつもふしぎやおどろきでいっぱい！

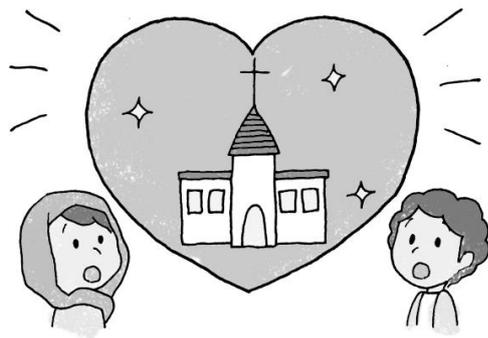
このときも、足が治った男の人がおどろいただけでなく、それを見ていた人たちみんな、びっくりぎょうてんしたって！

「何が起こったんだ！」「いったいこんなことができるのはどんなお方だ！」「どういうことだか知りたい！」そんな、人々をあっと言わせるほどの力がイエス様にはあるのです。

あなたも、イエス様がいつしよなら、あなたにしてくださったイエス様の救いのわざで、お友だちをあっと言わせられるんだよ。

いの祈り

天のお父様、人をあっと言わせる、力あるイエス様と、これからもいつしよに歩いていきます。



# 10月9日(日)

聖書  
聖句

使徒5・11  
教会全体と、このことを聞いたすべての人たちに、大きな恐れが生じた。  
11節

あなたは、献金をささげるとき、どんな気持ちで献金をしますか？ また、あなたが人を助けてあげるとき、どんなことを感じますか？

人どうしても、教会も、愛しあって、支えあって、神様に喜ばれるように生きていたいよね。そのために一番たいせつなことはなんだと思いますか？それは「心」！うそのない心、あたたかい、やさしい、人と神様を思う心です。

はじめてこの世界に教会ができたときもそうでした。自分だけがほめられたいと思わず、神様と人を思い、たいせつにしたから祝福されたんだ！

祈り 天のお父様、自分のことでなく、あなたと人を思える心でいられますように。

聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒5・1～11  
アナニアとサツピラ  
教会全体と、このことを聞いたすべての人たちに、大きな恐れが生じた。  
使徒5・11

目標

神を正しく恐れ、真実な生活を送る。

# 10月10日(月)

聖書  
聖句

使徒5・1～2  
代金の一部を自分のために取っておき、一部だけを持って来て、使徒たちの足もとに置いた。  
2節

教会が初めてできたとき、みんな心を一つにし、神様のためにはたらきました。だれも、持ちものをひとりじめせず、みんなで分け合っ助けて合っていました。ある人は家や土地を売ったお金をみんなのためにささげました。

ところが！ アナニアとサツピラという夫婦は、持ちものを売ったお金をごまかして持ってきて、「これが全部です」という顔をしました。

ささげたんだからいいじゃない！ と思う？ でも、「ささげ方はもっと大事！ ごまかさず、ウソをつかず、すきとおったきれいな心でいなければ、喜んでほもらえないですよ。

祈り 天のお父様、ささげる心が、あなたに喜ばれる心でいられますように。

# 10月11日(火)

聖書  
聖句

使徒5・3  
なぜあなたはサタンに心を奪われて聖霊を欺き、地所の代金の一部を自分のために取っておいたのか。  
3節

年や性別や、身分、色んなちがいがあっても、聖霊が与えられたなら愛しい、支えあい、助けあえること、それは本当に素晴らしいね！

だけど、サタンはいつも、どうやってわたしたちを神様や教会からうばおうかとねらっています。お金や、好きなこと、自分がとくすることが目の前に来たとき、あなたがそれを正しく使えないことをサタンは知っているのです。

だからこそ、聖霊を欺いて悲しませてはならないのです、負けてはならないのです。

祈り 天のお父様、サタンに勝つ力をください。聖霊を悲しませない毎日をすごせますように。

# 10月12日(水)

聖書  
聖句

使徒5・4  
あなたは人を欺いたのではなく、  
神を欺いたのだ。 4節

神様がどれだけあなたによくしてくださっているか、かんがえることはありますか？

あなたを造り、あなたを守り、助け、愛して、ご自分の命よりもたいせつなイエス様を、罪の身代わりに十字架につけてくださいました。

その、神様からの恵みをわすれるとき、人は平気で罪をおかしてしまいます。

うそをついたとき、じょうずに人をだますことはできるかも。でも、神様をだますことはできませんよ。神様は、あなたが見てほしいことだけでなく、見てほしくないことも、なにもかも知っていて、正しい心で生きてほしいとねがっておられるのです。

祈り 天のお父様、うそをついてあなたに罪をおかすことがありませんように。

# 10月13日(木)

聖書  
聖句

使徒5・5~6  
このことばを聞くと、アナニアは倒れて息が絶えた。 5節

アナニアは、ペテロの言葉を聞いているうちに、神様のさばきをうけて死んでしまいました。教会の人たちは、神様がどれほど罪にきびしく、おきらいかを、このじけんをとおして知りました。どんなに小さな罪でも、それが教会の中に入っていくと、ちょうど風邪をひいたようにどんどんと体中に広がってしまうのです。

教会が神様に喜ばれ、健康でいるためには、どんな小さな罪も入ってはならないのです。

このじけんは、神様のきびしさだけでなく、教会を守り、成長させたいという、神様の愛であることも知ってくださいね。

祈り 天のお父様、教会を守り成長させるために、きびしいさばきもなさることを知りました。

# 10月14日(金)

聖書  
聖句

使徒5・7~10  
彼女は「はい、その値段です」と言っ  
た。 8節

アナニアが神様のさばきをうけて死んだことを知らないサツピラが、ペテロのところにやってきたとき、ペテロは「本当に、あの地所の値段はああなのか？」と、もういちど聞きました。サツピラはドキッとしただろうね。でも、ウソだなんて言えませんでした。

いちどウソをつくると、そのウソをかくすためにまたウソをつきそうになります。でも、たいせつなのは、本当にそうなの？ と聞かれたとき、すなおに「ウソをついてごめんなさい。」と神様や、人におわびすることだよ。

悔い改めのチャンスをにがさないでね！

祈り 天のお父様、せっかくの悔い改めのチャンスをにがすことがありませんように。

# 10月15日(土)

聖書  
聖句

使徒5・10~11  
彼女が死んでいるのを見て運び出し、  
夫のそばに葬った。 10節

あなたは、罪をおかしてしまった人を見たらどんな気もちになりますか？「あんたなんか知らない！」とか「どっか行け！」って思う？

でもね、ペテロの教会の人を見て！ 死んだアナニアとサツピラをきちんとお墓に入れてあげたい！ どうしてだと思おう？

それは、アナニアとサツピラも神様に同じように愛されてきた人間だから。自分たちも、イエス様の十字架で罪を赦された人間だし、これからは、罪をおかすかもしれない弱い人間だから。いつでも、どんな人にも愛の心でせつすることが神様の御心だとわかっていたんだね。

祈り 天のお父様、どんな人にも愛の心でせつすることが出来ますように。あなたに喜ばれる人間でいられますように。



**聖書** 使徒7・54~60  
**テーマ** ステパノの殉教  
**暗唱聖句** 見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。 使徒5・56

**目標** 天を見上げ、キリストを証する生涯を送る。

## 10月16日(日)

**聖書** 使徒7・56  
**聖句** 見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。 56節

信仰と聖霊に満ち、イエス様のために命をなげだしたステパノを知っていますか？

イエス様を救い主と信じただけで、迫害される時代がありました。でも、ステパノには「死がすべてのおわり」ではありませんでした。

そう、死の向こうにある「永遠の命」と、天ですべてを見ておられ、もういちど来られるお方がはっきりと見えていたんだね。

今あるしあわせや、自分を守る安全ではなく、たいへんなとき、つらいときこそ、天のイエス様を見上げて生きていきたいね。

**祈り** 天のお父様、たいへんなときこそ、天にイエス様がおられることを思いだせませうように。

## 10月17日(月)

**聖書** 使徒7・54  
**聖句** 人々はこれを聞いて、はらわたが煮え返る思いで、ステパノに向かって歯ぎしりしていた。 54節

神様のこと、イエス様を証するってなんだろう？ って考えたことはありますか？

クリスチャンどうしならきっとイエス様のことを話しあうのは楽しいよね。

でも、ほんとうにイエス様の救いがひつようなのは、今日のお話にでてくる、イエス様のことを聞いたら怒りだすような人たちのはず。

わたしたちのまわりには、キリスト教というだけで心をとぎす人、にげていく人、こぼげきする人がたくさんいます。

そんな人にイエス様の救いがとどきますように、とまずは祈ってみる一週間にしようね。

**祈り** 天のお父様、わたしの近くにいる〇さんにあなたの救いがとどきますように。

## 10月18日(火)

**聖書** 使徒7・55  
**聖句** しかし、聖霊に満たされ、じっと天を見つめていた…イエスを見 55節

今にもおそいかかってきそうな人たちの前に立たされたら、きっとすごくこわいよね。

でも、ステパノを見ると、こわがるどころか、キラキラかがやいてみえてくるでしょう？

そのヒントは「聖霊に満たされる」ってことだと、聖書は教えてくれるよ。聖霊が、すべてのおそれや、不安や、おくびょうな気持ちを取り去って、イエス様だけを見ることができるようにしてくれるんだね！

もし、あなたが人をこわがっているなら「こんな弱いわたしを聖霊で満たしてください」とお祈りしよう。天のイエス様が見えるよ！

**祈り** 天のお父様、弱いわたしを、ステパノのように聖霊でいっぱい満たしてください。

# 10月19日(水)

聖書  
聖句

使徒7・55～56

見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。56節

何年か前に、I Sという宗教グループが、多くの人たちをつかまえては殺しているのが、大きな問題になりました。そのとき、日本人のクリスチャンも自分の友を助けようとしてつかまり、殺される、ということが起きました。友を助けよう命をなげだす人と、気に入らない人はみな殺す人、どちらが正しい人か、どちらが聖霊に満たされているか、だれにだつて分かるよね。

まさにステパノのときも、そのようでした。

いの祈り

天のお父様、わたしも、だれが見てもわかるほど、聖霊に満たされている人らしい人生をあゆませてください。

# 10月20日(木)

聖書  
聖句

使徒7・57～58

人々は大声で叫びながら、耳をおおい、一斉にステパノに向かって殺到し…石を投げつけた。57～58節

人が罪を言いあてられたとき、ふたつの態度が考えられます。ひとつめは、「いや、わたしこそ正しい！ 悪いのおまえのほうだ！」という態度。もうひとつは「わたしは罪をおかしました。どうかゆるしてください」という態度。神様は、罪を悔い改めるチャンスをお方です。そのときにどのような態度をとるかで、「永遠の命への道」と「永遠の滅びへの道」が分かれてしまうことがあることを知っておかなければいけませんね。

いの祈り

天のお父様、すべての人が、悔い改めのチャンスをのがさないで、永遠の道へ進んで行けますように。

# 10月21日(金)

聖書  
聖句

使徒7・59

主イエスよ、わたしの霊をお受けください。59節

イエス様も、十字架についたとき、苦しみの中で「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます」と言われました。

苦しめられたとき、「やめてよ！」「いつかおぼえとけよ！」と言ってしまうのが人間というものだけど、クリスチャンはちがうね！十字架の苦しみをのりこえたイエス様を知っているから、天でイエス様が、わたしをまるごと受け入れてくれることを知っているからね。

聖霊に満たされると、イエス様に一歩、また一歩と近づき、似ていくことを、ステパノは教えてくれますね。

いの祈り

天のお父様、わたしを赦し、まるごと受け入れてくださったイエス様に、一歩ずつ近づいていけますように。

# 10月22日(土)

聖書  
聖句

使徒7・60

主よ、この罪を彼らに負わせないでください。60節

「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」というイエス様のことばを、聖霊の助けを受けてさいごまで守りぬいたステパノ。

だれかのために苦しんだのに、なにも良いことはなかった、お祈りはムダだった、と思っっている人はいませんか？ いいえ、それが小さく、だれの目にもとまらないようなものだったとしても、神様にわすれられることはありません。

ステパノのできごとをとおして、福音は世界へと広がっていくことになり、ついにわたしたちのもとへとどいたのです。

あなたの祈りも、とどいているよ！

いの祈り

天のお父様、だれかの救いのため、わたしも祈りつづけていきます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒9・1～19  
サウロの回心  
突然、天からの光が彼の周りを照らした。使徒9・3

目標

天からの光に照らされ、キリストによる新生の恵みに生きる。

## 10月23日（日）

聖書  
聖句

使徒9・3  
突然、天からの光が彼の周りを照らした。3節

今週の聖書の個所には、サウロという人が登場します。この人は、のちのパウロです。イエス様と出会う前はサウロ、と呼ばれていました。そんな彼に、天から光がさして、彼はイエス様と出会うのです。

あなたは、どんなふうにイエス様と出会いましたか？ 友だちに教会にさそわれて出会った人、生まれた時から教会に行っていて出会った人、出会ったのかな～って、よくわかんない人、様々でしょう。今週は、あなたの心の中に天から光がさして、サウロのようにイエス様と出会う体験をしてほしいのです！

いの祈り

天のお父様、わたしもサウロのように、イエス様と出会う体験ができるように、みちびいてください。

## 10月24日（月）

聖書  
聖句

使徒9・1～2  
さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅かして殺害しようと息巻き、1節

サウロは、イエス様を信じるクリスチャンが大きいでした。「イエスが復活したなんてウソだ！」と怒りに燃えて、教会を荒らして人々を牢屋に入れていました。それが正しいことだと思いきや、こんでいたのです。それは、サウロがイエス様に出会ったことがなくて、どういうお方かわからなかったから。

あなたの周りに、教会やイエス様を良く思わない人がいるかもしれません。それは、イエス様のことを全然知らなくて、わからないからです。イエス様のこと、知ってほしいですね！

いの祈り

天のお父様、わたしの周りにいるすべての人に、イエス様がどういうお方か知ってもらえますように。

## 10月25日（火）

聖書  
聖句

使徒9・3～6  
彼は地に倒れて、自分に語りかける声を聞いた。「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。」4節

サウロがクリスチャンをつかまえるため、道をいそいでいた、その時！ 天からのものすごく強い光がさして、サウロを照らしました！ 光の中からこえが聞こえます…「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか」。なんと、イエス様の声！ サウロは大ショック。イエス様が復活されたなんて、ウソだと思っていたのに。

サウロはイエス様の声をハッキリ聞き、イエス様と出会いました。イエス様に出会うためには、だれの言葉より、イエス様のみ言葉を聞くことが必要なのです。

いの祈り

天のお父様、わたしが、なによりもイエス様のみことばを集中して聞くことができるように、助けてください。

## 10月26日（水）

聖書  
聖句

使徒9・7～9

彼は三日間、目が見えず、食べることも飲むこともしなかった。 9節

天からの光に照らされたサウロは、目がまったく見えなくなりました。見えないまま三日間、なにも食べず飲まずにお祈りしていました。「イエス様、ひどいことをしてきて、ほんとうにごめんなさい…」、そう祈ったことでしょう。

目が見えない三日間は、サウロが罪を悔いあらためるための、大切な時間でした。イエス様に出会った人は、かならず自分の罪がわかるようになるのです。罪を悔いあらためる時間をもつことは、あなたにとっても、どうしても必要なことです。

いの祈り

天のお父様、わたしの心の中も光で照らして、罪を教えてください。私の罪をどうぞおゆるしてください。

## 10月27日（木）

聖書  
聖句

使徒9・10～16

あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子らの前に運ぶ、わたしの選びの器です。 15節

サウロがいたダマスコに、アナニアというクリスチャンがいました。そのアナニアにイエス様は、「サウロの所へ行きなさい」と命じられました。アナニアはびっくり！「サウロって、おそろしい迫害者のはず…」。しかしイエス様は言われました、「彼は、わたしのことを伝える人として、わたしが選んだのだよ」。

たくさんの罪をおかしたサウロを、イエス様はゆるすだけじゃなく、選んでくださったのです。イエス様と出会って、罪を心から悔いあらためた人は、イエス様のために働く人になれるのです！あなたも！

いの祈り

天のお父様、わたしも、イエス様のために働く人になれることを感謝します！

## 10月28日（金）

聖書  
聖句

使徒9・17

兄弟サウロ。あなたが来る途中であなたに現れた主イエスが、私を遣わされました。 17節

アナニアは、「こわい！」という思いはあったでしょう。しかし、イエス様に従ってサウロがいる家に行きました。そして、サウロの上にて手をおき、こう呼びかけました、「兄弟サウロ」。教会では、クリスチャン同士で兄弟姉妹とよびます。アナニアはサウロをゆるし、「兄弟」と呼んだのです。

自分に悪いことをする人がいても、愛してゆるすのがクリスチャンなのです、イエス様のようになります。サウロはアナニアをとおして、イエス様の愛、ゆるしを知ったのでした。

いの祈り

天のお父様、わたしもイエス様のよう、どんな人であっても愛し、ゆるす人にならせてください。

## 10月29日（土）

聖書  
聖句

使徒9・18～19

サウロの目から鱗のような物が落ちて、目が見えるようになった。 18節

アナニアに手をおいてもらったサウロの目から、ポロッと「鱗のような物」が落ちました。するとサウロは、元どおり見えるようになりました！イエス様と出会ったサウロの、新しい人生の始まりです。サウロはイエス様を信じて罪ゆるされ、神の子として新しく生まれる経験をしたのです。この経験を「新生」といいます！

あなたにも、イエス様のみことばの光がさしています。ハッキリとイエス様を信じて、新生の恵みをいただきましょう。サウロのように、神の子としての人生を歩きはじめましょう！

いの祈り

天のお父様、わたしも神の子として、新しい人生を歩ませてください！



**聖書** 使徒16・6～10  
**テーマ** マケドニアからの叫び  
**暗唱聖句** マケドニアに渡って来て、私  
 ちを助けてください。 使徒16・9

**目標** 救いを求めている人々を覚え、  
 宣教への招きに応答する。

## 10月30日(日)

**聖書** 使徒16・9  
**聖句** マケドニアに渡って来て、私  
 たちを助けてください。 9節

イエス様を信じてからのパウロ(サウロ)は、  
 多くの人にイエス様を伝える人になりました。  
 周囲の人々はびっくり。「あの人はイエス様を信  
 じたんだ!」とクリスチャンは大喜び。クリス  
 チャンを迫害するユダヤ人たちは「あの裏切り  
 者!」とパウロの命をねらい始めたのでした。

そんな中、パウロはマケドニア人の幻を見  
 ます。この幻には、神様の大切なメッセージ  
 が込められていました。神様はいろいろな方法  
 でメッセージを伝えられますから、いつも神様  
 にアンテナをむけることが大切。いちばん大切  
 なのは、み言葉にアンテナをむけることです。

**祈り** 天のお父様、いつでもあなたのメッセージ  
 を聞けるよう、み言葉にアンテナをむけて  
 いきます。

## 10月31日(月)

**聖書** 使徒16・6～7  
**聖句** アジアでみことばを語ることを聖霊  
 によって禁じられたので、 6節

アジアでイエス様を伝えようと、パウロたち  
 は旅をつづけようとしていました。ところが、聖霊  
 様が「アジアでは語らないように」と禁じられ  
 たのです。しかも、二度も! みことばを語る  
 ことは大切なことなのに、どうして?

いっしょうけんめい祈っても、うまくいかな  
 いことってあります。「神様は聞いてくれない」  
 と思うけど、ちがうんです。神様はもっと良い  
 道を考えてくれているからなんです。「ちがう  
 よ、こっちだよ」も、りっぱな神様のこたえ。  
 あなたのお祈りは、聞かれています。

**祈り** 天のお父様、あなたが「ちがうよ」と言わ  
 れる時も、お祈りを聞いてくださっている  
 ことを信じます。

## 11月1日(火)

**聖書** 使徒16・6～8  
**聖句** それでミシアを通して、トロアスに  
 下った。 8節

アジアに行くことを聖霊様にとめられ、その  
 命令に従っていきついたのは、トロアスという  
 港町。パウロたちがまったく予定にいれていな  
 いところでした。目の前の海をみながら、「なん  
 でこんな所にきたのかなあ」と考えたでしょ  
 う。でも、聖霊様に導かれてたどりついたのは、  
 たしかなこと。

わからないときって、頭がモヤモヤしちやい  
 ますね。そういう時は、神様におまかせします!  
 と祈るのです。モヤモヤ、スッキリしない時間は、  
 あなたが神様におまかせするかどうか、神様が  
 見ておられるのですよ。

**祈り** 天のお父様、どんなときも、どんなこと  
 も、あなたにおまかせすることができま  
 すように。

# 11月2日(水)

聖書  
聖句

使徒16・9

マケドニアに渡って来て、私たちに助けてください。 9節

トロアスでの夜、パウロは幻を見ました。海のむこうに住む、ひとりのマケドニア人が「私たちに助けてください」とパウロにお願いするのです。「マケドニアに行けってこと?!」そこはパウロが行こうとはまったく考えていない場所。ぜったいアジアに行くんだ!と考えていたから。

わたしたちは、ぜったいこれがいい!と思いきむことがあります。でも神様は、わたしたちの「思いこみ」をボッコ!とこわして、もっとすばらしい道を教えてくださるんです。「こっちに行つてよかった!」とかならず思うはず。神様のお考えがいちばんです。

いの祈り

天のお父様、わたしの「思いこみ」をこわして、もっと良い道を教えてください。

# 11月3日(木)

聖書  
聖句

使徒16・10

神が私たちに召しておられるのだと確信したからである。 10節

「神様はわたしたちを、マケドニアに招いている。そこにイエス様の救いをひつようとする人々がいるんだ」。パウロはすぐに確信しました。アジアに行きたいのに、二度もとめられてトロアスに来たこと。すべてはマケドニアに行くための、神様のみちびきでした。頭のモヤモヤもスッキリです!

あなたの人生でおこることぜんぶ、意味のないことはひとつもありません。神様はあなたを愛してくださっているんですもの。「このためだったんだなあ」と、神様がスッキリさせてくださる時が、きつときます。

いの祈り

天のお父様、あなたがわたしを愛してくださるので、おこることすべて、意味があると信じます。

# 11月4日(金)

聖書  
聖句

使徒16・10

私たちはただちにマケドニアに渡ることにした。 10節

あなたは、神様のみどころがわかった時、どうする? 「はい、神様すぐ従います!」って言いますか? 「ちょっとまって〜」とモタモタすることもあるかもしれませんね。

パウロたちのすごいところは、「よし、マケドニアにすぐに行くぞ!」とすぐに従うところ。パウロにとっていちばんの道は、神様が知っておられます。パウロもそれがよくわかっていたので、モタモタする時間があったくない。パワフルなパウロらしい。わたしたちもすぐ従う、すぐ行動、そうなりたいですね。すぐに従ったほうが、いっぱい神様を体験しますよ!

いの祈り

天のお父様、パウロのように、あなたにすぐに従って行動できる人になりたいです。

# 11月5日(土)

聖書  
聖句

使徒16・6~10

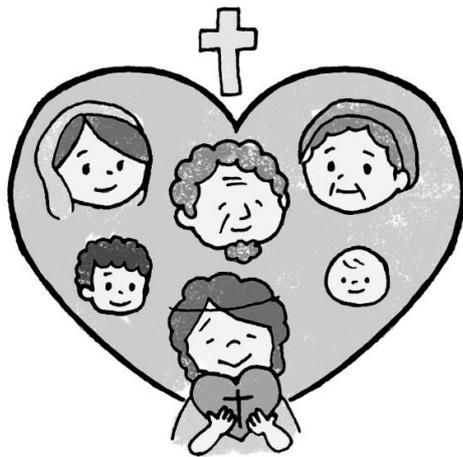
マケドニアに渡って来て、私たちに助けてください。 9節

トロアスから、船でマケドニアに渡ったパウロたち。そのあと、大変なことはたくさんあったけど、マケドニアにイエス様を信じる人がたくさんおこされました。神様に従ったので、すばらしいことがおこったのですね。

あなたのまわりには、実はイエス様を知らなくて「助けてください」とさげんでいる人がいるのです。学校や近所のお友だち、家族。神様が、パウロのようにあなたを招いています。まずは、お祈りすることから。そして、まずは一人に伝えてみる。神様は、あなたをかならず用いてくださいます!

いの祈り

天のお父様、救いを待っている人に、イエス様を伝えたいです。わたしを用いてください。



# 11月6日(日)

聖書  
聖句

使徒16・31  
主イエスを信じなさい。そうすれば、  
あなたもあなたの家族も救われます。  
31節

「あの子のあんなところがきれい」「家族のあれやこれが直ればいいのに」と、まわりの人の悪いところばかり見ていませんか？

そんなときは、ウソをついたり、人を傷つけたり、わがままな自分でも、まるごと愛してくれて、罪の身代わりに十字架について死んでくださったイエス様を思い出して！

あなたがイエス様とともに歩いてくなら、まずあなたの心や生き方が変わり、周りの人たちに伝わるよ！ イエス様を信じよう！ そうしたらあなたも、あなたの家族も救われるね！

**祈り** 天のお父様、まずはわたしから変わることができるよう。いつもイエス様とともに歩ませてください。

聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒16・25～34  
看守と家族の救い  
主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。 使徒16・31

目標

主イエスを信じて救いにあずかり、家族の救いのために祈る。

# 11月7日(月)

聖書  
聖句

使徒16・25  
真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りつつ、神を賛美する歌を歌っていた。  
25節

イエス様のためにはたらいたことでムチでうたれ、ろうやに入れられてしまったパウロたち。痛いしつらいし、元気もでないはずだよ。でも、そんな中で神様を賛美し続けたって！

もうだめ！と思うとき、自分の力じゃどうにもできないとき、心が下を向いちやって、もうイエス様を信じるのをあきらめる？

でもね、パウロたちの信仰は、あきらめず、行きづまらなかったよ！ そういう人を神様は助け出してくださるんだね。イエス様とガッチリ！ つながっていたいね！

**祈り** 天のお父様、しっかりイエス様とつながって、あきらめたり行きづまったりせず信じとおせますように。

# 11月8日(火)

聖書  
聖句

使徒16・25  
ほかの囚人たちはそれに聞き入っていた。  
25節

夜のくらい中で、パウロたちが賛美すると、あらフシギ！ 悪いことをして捕まった人たちもじ〜っとその賛美を聞いていたんだって。しかも、だれも「うるせ〜バカヤロウ」なんて言わないで、心から聞いていたみたい！

賛美ができるってすばらしいね！ 縄でしばられ、くさりにつながれて身動きがとれなくても、だれもイエス様を信じる心や口をしぼることはできないんだ。そして、どんなときもイエス様を見あげて賛美するなら、罪の中で苦しんでいる人たちにも、イエス様のすばらしさが伝わっていくんだね。

**祈り** 天のお父様、どんなときも心から賛美でき、あなたのすばらしさを伝えられますように。

# 11月9日(水)

聖書  
聖句

使徒16・26

突然、大きな地震が起こり、牢獄の土台が揺れ動き、たちまち扉が全部開いて、すべての囚人の鎖が外れてしまった。 26節

もし、あなたがろうやの中で鎖につながれていたのに、突然こんなことが起きたら！？神様のカスゲ～！！と思うだけでなく、今まで神様を信じないで生きてきたこと、自分が罪人であることが、おそろしくなってくるよね…。

でも、神様がパウロたちのお祈りと賛美にこたえて「突然」鎖を解いてくださったように、神様は、イエス様の十字架を信じるなら、あなたがしばられて苦しんでいる罪の鎖でも、あつというまに解いてくださるお方です。

いの祈り 天のお父様、イエス様を信じるなら、どんな罪の鎖からも一瞬で助けてくださることを信じます。

# 11月10日(木)

聖書  
聖句

使徒16・27～28

私たちはみなここにいる。 28節

ろうやにいた人たちの鎖が解け、戸があいたとき、みんないっせいに「にげろ～」って出ていったのではありませんでした。もしにげたら、こんどはろうやの番をしていた人が死刑にされるか、自殺するところです。でも、パウロたちだけでなく、罪をおかしてろうやに入れられた人もみんなそこに残っていたんだって！

パウロたちのお祈りや賛美で、神様がどんなお方か、聞いていただけでなく、ろうやが開いたとき、お祈りにこたえてくださることもわかったんだね。パウロたちは入りたくてろうやに入ったんじゃないけど、そこにいた人たちのためにも神様は用いてくださったね。

いの祈り 天のお父様、あなたがかわしてくださった場所でわたしも用いてください。

# 11月11日(金)

聖書  
聖句

使徒16・29～30

救われるためには、何をしなければなりませんか。 30節

あなたは、心から「わたしは救われなければならぬ！」と思ったことはありますか？

いつも、まちがっていて、罪がある人は「自分じゃないだれか」だと、心のどこかで「わたしは正しいはず」だと、おもっていませんか？

この看守もきっと同じだったよね。自分は、「罪人をろうやに入れる正しい人間」だと思っていたよね？でも、本当は「罪人は自分、まちがっているのは自分」だったことを、神様が気づかせてくれたんだ！すごい！

神様は、そんな人たちのためにも救いを用意してくださるんだね！

いの祈り 天のお父様、自分は正しいと思っている人でも、救いのチャンスを用意して下さり感謝します。

# 11月12日(土)

聖書  
聖句

使徒16・31～34

神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。 34節

本当の救い、本当の喜びはどこから来るのかな？いろいろがんばって手に入れるもの？いい子にしていたらやってくるもの？

いいえ、救いは真の神様を信じ、イエス様を信じるときにやってくるのです。あなたの心のおくの罪は、どんながんばりでも、どんな良いことでも消えないし、そこに救いはないよ。

イエス様は、あなたの罪の身代わりに十字架で死んでくださった、たった一人のお方。

このイエス様を信じる時、本当の救い、本物の喜びをもらえるんだね。イエス様を信じて心から喜べるあなたでいてね！

いの祈り 天のお父様、ただ信じるだけで本当の喜びがいただけることを感謝します。わたしもイエス様を信じます。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

I 列王 3・16~28  
ソロモンの知恵  
神の知恵が彼のうちにあって、  
さばきをするのを見たからである。  
I 列王 3・28

目標

神様からの知恵によって生きる者となる。

## 11月13日(日)

聖書  
聖句

I 列王 3・16  
そのころ、二人の遊女が王のところに  
来て、その前に立った。 16節

今週は、イスラエルの王、ソロモンのお話です。ソロモンは、神様からの知恵を与えられた人で有名です。さあ、どんな知恵だったのか、注目!

ソロモンのところに「遊女」と呼ばれる二人の女性がやってきました。遊女は、周囲から良く思われていない人たちでした。だから、そういう人は、身分の高い王様になくて会えないはずなのです。ところが、ソロモンはどんな人であっても直接会って、話を聞きました。神様の知恵がある人は、どんな人も受け入れて、けっして差別しないのですね。

いの  
祈り

天のお父様、人を差別しないで、どんな人も受けいれる神様の知恵を、わたしにもあたえてください。

## 11月14日(月)

聖書  
聖句

I 列王 3・17~21  
家には私たちのほか、だれも一緒に  
いた者はなく、私たち二人だけが家  
にいました。 18節

二人の女性は、同じ家に住んでいて、同じ時期に赤ちゃんを産みました。ところが、片方の女性が、寝ているあいだにあやまって自分の赤ちゃんの上ののっかってしまい、赤ちゃんは死んでしまいました。そこで、もう片方の女性の生きている赤ちゃん、自分の死んだ赤ちゃんをとりかえたというのです! それで大ゲンカになり、ソロモンのところに来たのです。

この二人のほかには誰も見ていないと言うのですから、どうしようもない? いいえ、見ていたお方がいます。それは神様。ソロモンが求めた知恵は、すべてを知っておられる神様の知恵なのです。

いの  
祈り

天のお父様、すべてを知っておられるあなたの知恵を、わたしにも与えてください。

## 11月15日(火)

聖書  
聖句

I 列王 3・22  
女たちは王の前で言い合った。 22節

「生きている子がわたしの子どもよ!」「いいえ、死んだのがあなたの子どもでしょ?」と、二人の女性は言いあらしい、ソロモン王の前でも大ゲンカが始まりました!

赤ちゃんというのは、お母さんがほんとうに苦労して産むものです。せつかく生まれた赤ちゃんが死んでしまい、もう一人の女性の赤ちゃんが生きている。くやしくて、悲しくて、たまらなかったのでしょう。自分のことしか考えられなくなって、まるで物みたいに赤ちゃんを取りかえてしまいました。神様の知恵がないと、自分のことだけを考えて行動して、争いをおこしてしまいます。

いの  
祈り

天のお父様、わたしが自分のことだけを考えて、争いをおこさないように助けてください。

# 11月16日(水)

聖書  
聖句

I 列王3・23~25

生きている子を二つに切り分け、  
半分をこちらに、もう半分をそちら  
に与えよ。 25節

さあ、困りました。二人の女性の犬ゲンカは、  
いつまでも終わらそうにありません。ところが  
ここで、ソロモンは神様の知恵を用いたのです。  
「刀を持ってきて、赤ちゃんを半分にわけて、  
二人の女性にあたえなさい」。えええ!? 赤ちゃん  
を刀で半分にしておける? そんなこと  
したら、赤ちゃんは…! そこにいた全員に  
衝撃が走りました! でも、それこそがソロモン  
のねらい。

神様の知恵は、わたしたちが考えつかない、  
おどろきにあふれています。そして、ちゃんと  
あとでその意味を教えてくださいますよ!

いの祈り 天のお父様、神様の知恵はおどろきでいっ  
ぱいです。わたしがその意味がわかるよう  
に助けてください。

# 11月17日(木)

聖書  
聖句

I 列王3・26~27

生きている子を初めのほうの女に与  
えよ。決してその子を殺してはならな  
い。彼女がその子の母親である。27節

赤ちゃんを刀で切つてわかるなんて! 片方  
の女性がまさきに言いました、「赤ちゃんをあ  
ちらの女性にあげていいです。どうか殺さない  
で!」。もう片方の女性は「どっちにもあげない  
で、切ってください!」。さて、どちらが本当の  
お母さんだと思いますか? 「殺さないで!」と  
言ったほうですよ! ソロモンは、その女性に  
赤ちゃんをわたしたのでした。二人の反応を見  
て、本当のお母さんをあてる神様の知恵だっ  
たのです。おみごと!

神様の知恵は、必要などころに、きちんと働  
くのです。むだなことはありません。神様は、  
ほんとうにすごいんです。

いの祈り 天のお父様、神様の知恵は、本当に必要な  
ところにお働かれることを教えてください  
感謝します。

# 11月18日(金)

聖書  
聖句

I 列王3・16~28

神の知恵が彼のうちにあつて、さば  
きをするのを見たからである。 28節

神様の知恵を持っているソロモン王を、イス  
ラエルの人々は心から畏れ、敬うようになり  
ました。ソロモンをとおして、「神様の知恵は、  
人間の知恵よりすごい!」とわかったからです。

ソロモンは、神様からの知恵を最大限に用い  
ました。そのけっか、人々は神様のすばらしさ  
を知ったのです。ソロモンもすばらしいので  
すが、知恵をあたえた神様はもっとすばらしい。  
神様の知恵がある人は、自分ではなく神様のす  
ばらしさを伝える人になるのですね。

いの祈り 天のお父様、わたしが、自分ではなく、  
神様のすばらしさを精一杯伝える人にな  
ることができるよう。

# 11月19日(土)

聖書  
聖句

I 列王3・11~12

見よ。わたしはあなたに、知恵と判断  
の心を与える。 12節

ソロモンにはどうして神様の知恵があたえら  
れたのでしょうか。それは、彼が「神様の知恵を  
あたえてください」と求めたからです。自分の  
幸せを求めないで、王様として人々をみちびく  
ための知恵を求めたのです。神様はソロモンの  
願いを喜ばれ、知恵をあたえてくださいました。

人生はね、自分の知恵だけでは、もうどうし  
たらいいの~! ってことだらけ。これから、そ  
ういうことがたくさん起きますよ。だから、神様  
の知恵が必要なんです。ソロモンのように求め  
て祈りましょう。神様のすばらしい知恵があれ  
ば、かならず、のりこえていきます!

いの祈り 天のお父様、わたしには神様の知恵が必要  
です。あなたのすばらしい知恵にたよって  
歩んでいきます!



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

I 列王12・1~19  
王国の分裂  
愚か者には自分の歩みがまっす  
ぐに見える。しかし、知恵のある  
者は忠告を聞き入れる。

目標

箴言12・15  
神からの勧めに耳を傾け、従う。

## 11月20日(日)

聖書  
聖句

I 列王12・1  
レハブアムはシェケムに行った。全  
イスラエルが彼を王とするために、  
シェケムに来ていたからである。1節

レハブアムはソロモン王の息子です。ソロモンが死んで、次の王様になるため、レハブアムとイスラエルの人々が会うことになりました。どうやら、イスラエルの人々は、レハブアムに聞いてほしいことがあるようです。

今週のテーマは、「耳を傾ける」ことです。わたしたちは、自分のことばかり話して、人の話を聞いてないことがあります。何より問題なのは、神様の声が聞こえていないこと。さあ、耳を傾ける、ということをしつかり学んでいきましょう。

祈り 天のお父様、あなたの声に耳を傾けることができるように、わたしに必要なことを教えてください。

## 11月21日(月)

聖書  
聖句

I 列王12・2~5  
父上が私たちに負わせた過酷な労働  
と重いくびきを軽くしてください。  
4節

イスラエルの人々は、ソロモンの家来だったヤロブアムといっしょに、レハブアムに会いに行きました。そしてこう言いました。「あなたの父上のソロモン王は、わたしたちにたくさん仕事をさせ、たくさん税金を払わせました。どうか軽くしてください。そうしたら、わたしたちはあなたに任せます!」。レハブアムはよく考えてから、三日後に返事をするにしました。

イスラエルの人々は、仕事と税金で苦しんでいることを、レハブアムに聞いてほしかったのです。苦しんでいる人の声に耳を傾けることはとても大切なことです。

祈り 天のお父様、わたしが苦しんでいる人の声に耳を傾けることができますように。

## 11月22日(火)

聖書  
聖句

I 列王12・6~7  
レハブアム王は、父ソロモンが生き  
ている間ソロモンに仕えていた  
長老たちに…相談した。6節

イスラエルの人々の仕事と税金を軽くしたらよいか? レハブアムは、お父さんのソロモンに仕えていた長老たちに相談してみました。長老たちは、「あなたがしもべのように人々に仕えて、親切に話してあげたら、彼らはずっとあなたに任せますよ!」とアドバイスしました。つまり、人々の願いどおり、仕事と税金を軽くしてあげて! ということですね。

「耳を傾ける」というのは、ただ聞くだけではありません。聞いたら自分のできることを精一杯してあげる。これが、「耳を傾ける」ということです。

祈り 天のお父様、ただ聞くだけでなく、できることを精一杯してあげられる人になれますように。

# 11月23日(水)

聖書  
聖句

I 列王12・8~11

しかし、王はこの長老たちが与えた助言を退け、自分とともに育ち、自分に仕えている若者たちにこう相談した。 8節

長老たちが良いアドバイスをしてくれたのに、レハブアムはその意見が気に入っていませんでした。そこで、自分といっしょに育った若者に相談しました。若者たちは、「父ソロモン王よりもたくさんの仕事をさせて、たくさんの税金を払わせる！と言いなさい」とアドバイス。つまり、「わたしはソロモンよりすごい王様だぞ！と見せつけてやりなさい！」ということ。

長老たちとは正反対、とんでもないアドバイス！人々を苦しめることが良いはずがありません。人を苦しめるような悪い考えや誘いには、けっして耳を傾けてはいけません。

いの祈り 天のお父様、わたしが悪い考えや誘いに耳を傾けないよう、助けてください。

# 11月24日(木)

聖書  
聖句

I 列王12・12~15

王は民の願いを聞き入れなかった。 15節

約束の三日目、ヤロブアムとイスラエルの人々は、レハブアムの返事を聞きにやってきました。なんとレハブアムは、「あなたがたの仕事と税金をもっと重くする！」と返事をしたので、自分がすごい王様だと見せつけたくなり、自分の気に入った若者のアドバイスに従いました。気に入らない長老たちのアドバイスには耳を傾けず、イスラエルの人々の苦しみにも耳を傾けませんでした。

自分のことだけ考えて、気に入った意見だけを聞く人にならないでください。たとえ気に入らない意見でもきちんと聞く、これが耳を傾ける人の特徴なのです。

いの祈り 天のお父様、たとえ自分の考えとちがう意見でも、きちんと耳を傾けられるよう、わたしを助けてください。

# 11月25日(金)

聖書  
聖句

I 列王12・16~19

ダビデのうちには、われわれのためのどんな割り当て地があるか。エッサイの子のうちには、われわれのためのゆずりの地はない。 16節

レハブアムの返事に、ヤロブアムとイスラエルの人々はガッカリ。「もう、ダビデ王家のレハブアムを王様としてみとめない。ダビデ王の家族には、もう仕えない！」と決めて帰ってしまいました。レハブアムがつかわした役務長官アドラムを殺して反抗しました。そしてヤロブアムを自分たちの王様にしたのです。こんなはずじゃなかったのに…、レハブアムが後悔しても、もうおそい。ヤロブアム王と、レハブアム王。イスラエルは二つに分裂してしまいました！

このように、耳を傾けないことは、大きな失敗につながってしまうのです。

いの祈り 天のお父様、耳を傾けないで起こってしまう失敗から、わたしを守ってください。

# 11月26日(土)

聖書  
聖句

箴言12・15

愚か者には自分の歩みがまっすぐに見える。しかし、知恵のある者は忠告を聞き入れる。 15節

今日は、たくさんの知恵について書かれている箴言です。自分の考えや気に入った道だけに行く人は愚かな人、とはっきり教えています。

あなたは、だんだん「自分のことは自分がいちばんわかっている！」と言いたい年頃になっていきます。でも、神様はいろんな人をおして、あなたにアドバイスをくださるので、聞く姿勢をもつことは大切。そして何よりも、神様のみことばのアドバイスには、いつも耳を傾けましょう。本当の知恵がある人は、自分でなんでも考えられる人ではなく、みことばに耳を傾け、従う人です！

いの祈り 天のお父様、あなたのみことばのアドバイスに耳を傾けて従う、本当の知恵がある人にならせてください。

アドベント・収穫感謝 しゅうかくかんしゆ



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

Ⅱ歴代32・9～22

ヒゼキヤ

彼とともにいる者よりも大いなる方が、私たちとともにいてくださるからである。Ⅱ歴代32・7  
大いなる神の守りを信じて生きる。

目標

11月27日(日)

聖書  
聖句

Ⅱ歴代32・9

アッシリアの王センナケリブは、その家来たちをエルサレムに遣わした。彼自身は全軍を率いてラキシュを攻めていた。 9節

先週は分裂してしまったイスラエルをまなびましたね。北イスラエルと南ユダにわかれたのですが、その南ユダ王国におきた大ピンチのシーンを読んでいきます！

南ユダに、アッシリアという大きくてつよい国がせめてきました。ふつうに考えて、ユダが勝てる相手ではありません。その時のユダの王様はヒゼキヤ。彼は、心から神様を信じている王でした。神様を信じる人にもピンチはやってきます。でも、ピンチがやってこようと、そこでたすけてくださるのは、やっぱり神様です。

いの祈り

天のお父様、ピンチからたすけてくださるあなたの力を、おしえてください。

11月28日(月)

聖書  
聖句

Ⅱ歴代32・10～14

おまえたちの神がおまえたちを私の手から救い出すことができるというのか。 14節

アッシリアの王はセンナケリブ。彼は、ヒゼキヤとユダの人々に「おまえたちが信じる神は、おまえたちを助けられない」と言っています。彼は、偶像礼拝する国々をやっつけてきたので、「おまえたちだって同じだ、ほかの国の神々は、誰も助けなかったぞ」と言うのです。

センナケリブは、ほんとうの神様と偶像と一っしょにして、神様を信じるなど言ってきました。神様への信頼を失わせようと、ゆうわくしたのです。でも、ほんとうの神様は言われっぱなしではおわりませんよ～！

いの祈り

天のお父様、あなたへの信頼を失わせようとするゆうわくから、わたしをお守りください。

11月29日(火)

聖書  
聖句

Ⅱ歴代32・15～17

おまえたちは、ヒゼキヤにごまかされるな。このようにそそのかされてはならない。彼を信じるな。 15節

センナケリブは、こんどはヒゼキヤの悪口を言いふらしています。ヒゼキヤがユダの人々に「神様が助けてくださる。神様が戦われる！」と話して、はげましていたからです。「ヒゼキヤにだまされるな」と、神様を信じるヒゼキヤを悪く言い、ヒゼキヤ王とユダの人々のかんけいをこわす悪だくみです。

いまでも、神様を信じる人がばかにされたり、悪口を言われることがあります。でも、ここで忍耐！神様が助けてくださるときがかならず来るので、待ってください！

いの祈り

天のお父様、あなたを信じることをばかにされても、忍耐してあなたの助けを待てるよう、わたしをおまもりください。

# 11月30日(水)

聖書  
聖句

Ⅱ歴代32・18~19  
彼らは、城壁の上<sup>うへ</sup>にいたエルサレムの民にユダのことばで大声<sup>おほこえ</sup>で呼びかけ、民を恐れさせ、おじけさせて、この町を取ろうとした。 18節

苦しいヒゼキヤとユダの人々に、さらにセンナケリブの家来も大声をあげてきました。イザヤ書とⅡ列王記にもこのシーンが書かれています。「おまえたちの神は助けてくれない。ヒゼキヤの言うことは聞くな！ 降参するんだ！」。ここまでつよく言われると、ほんとうにそうかも…と<sup>おも</sup>ってしまいそうです。

神様を信じて意味がないかも…と思うこと、これが人生でいちばんのピンチ！ でも、それは悪魔の作戦だと覚えていてください！

いの祈り 天のお父様、あなたをうたがわ<sup>しん</sup>ないで信じていきます。わたしを悪魔の作戦からお守りください。

# 12月1日(木)

聖書  
聖句

Ⅱ歴代32・20  
ヒゼキヤ王と、アモツの子、預言者イザヤは、このことについて祈り、天に呼び求めた。 20節

ああ、ここまではなんだか苦しいシーンでした。しかしそれもここまでです。ヒゼキヤ王は、さんざん神様と自分の悪口を言われ、おどされましたが、つらい気持ちを神様に祈りました！ しかも、ひとりではありません。ヒゼキヤには預言者イザヤという心強い祈りの友がいたのです。ヒゼキヤとイザヤは心あわせて、天地をつくられたほんとうの神様に祈ったのでした。

あなたには教会のお友だちがいるでしょう。ぜひ、ともに祈る友だちになりましょう。ヒゼキヤにもあなたにも、すごいことがおこる予感！

いの祈り 天のお父様、いっしょに祈るすばらしさをしりました。教会のみなさんと、祈りの友になりたいと思います！

# 12月2日(金)

聖書  
聖句

Ⅱ歴代32・21~22  
【主】は御使いを遣わして、アッシリアの王の陣営にいたすべての勇士、指揮官、隊長を全滅させた。 21節

さあ、ついに、神様が助けてくださる時がきました。たったひとりのみ使いがつかわされ、アッシリアの大軍はあっという間にほろぼされてしまいました！ あわててにげたセンナケリブ、神様をさんざんばかにしたのを後悔しても、もうおそい。神様を敵にした結果、彼もかなしい最期をむかえたのです。

どんな大軍、武器も、この世のどんなものも、天地をつくられた神様の相手にはなりません。神様がくださる勝利は、圧勝です。

いの祈り 天のお父様、わたしがピンチのとき、あなたが圧倒的な勝利をくださることを信じます！

# 12月3日(土)

聖書  
聖句

Ⅱ歴代32・7  
彼とともにいる者よりも大いなる方が、私たちとともにいてくださるからである。 7節

ヒゼキヤは、ふつうに考えたらぜったい勝てない戦いなのに、「わたちたちとともにいる神様はアッシリアよりもっとすごいお方だ！」と神様だけを信頼しました。すると神様は、ヒゼキヤが予想できない方法で、完全勝利され、ユダ王国を守ってくださいました。

あなたがピンチのとき、ヒゼキヤのように、まず神様を信頼して祈ること。戦いがつづいてつらくても、神様にたよって祈りつづけてください。だいじょうぶ。はっきり言って、神様はあなたが考えるより、すごいお方なんです。

いの祈り 天のお父様、あなたはわたしの想像よりずっとすごいお方です。あなたの守りを信じて、あゆんでいきます。

## Ⅱアドベント



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ1・1~5、9~14  
すべての人を照らす光  
すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。

目標

ヨハネ1・9  
心の闇を照らしてくださるイエスを、救い主として信じ受け入れる。

## 12月4日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ1・1~5・9~14  
すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。9節

いよいよⅡアドベント、クランツのろうそくが2本ともりました。クリスマスシーズンで、目立つもう一つの話は、「光」ですね！キャンドルの光、イルミネーションの光、星の光です。24日のイヴには燭火礼拝をする教会も多いでしょう。これは何を示しているかというと、キリストは光として来られたということです。「すべての人を照らすまことの光」としてね。キリストこそまことの光で、心の影、罪を示し、ゆるし、きよい心で正しい道を歩めるようにしていただきます。

いの祈り 天のお父様、このクリスマスに、光なるイエスを信じ受け入れて、光の子とされ、光の中を歩んでいきたいです。

## 12月5日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ1・1~2  
初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。1節

すべてのことには「初め」がありますね。あなたが教会に来たのはいつなのかな？あなたが「初めて」この世界に誕生したのが、あなたの誕生日ですね。この世界の「初め」というのはどうだったのかな？「初め」にことばがあったということです。このことばというのはギリシャ語では「ロゴス」と言って、実はイエスのことを指しているのです。「初め」にイエス様がいて、神様と共におられて、イエス様も神様であったということになります。

いの祈り 天のお父様、イエス様は神様であって、あなたと共に世界のできるその前、「初め」におられたと知りました。

## 12月6日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ1・3  
すべてのものは、この方によって造られた。3節

おもちゃでもゲームでも何でも、「コレ、どうやってだれが作ったのかな？」って思うでしょう。じゃ、「この世界、いや大宇宙、そしてその中にあるすべてのもの——こう書くのは簡単だけど、大変な量だし、大変な種類だし、大変な込み入って複雑にできてますよ——はどうやって、だれが作ったのだろうか？」と考えたら・・・？ここにパンツ！と答えが記されています。すべてのものは、この方によって、つまりイエス様によってできたのです！

いの祈り 天のお父様、イエス様がどんなにか力強く、知恵に満ちたお方かわかり、感心してまいります。学ばせてください。

## 12月7日(水)

聖書  
聖句

ヨハネ1・4~5

光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。 5節

だれもいない真っ暗なお部屋にひとりで入っていくのは恐いですか? 「暗いろうかを通して、ひとりでトイレに行くのも恐いよー」という子もいるでしょう。その時、ライトがあるとパッと明るく照らしてくれて安心ですね。暗いお部屋も電気をつけるとパッと明るくなって、やみはなくなってしまう。イエス様は光です。罪のやみを追い払ってください。やみの力、サタンのもイエス様には勝てません。光なるイエス様を信じると毎日が勝利です。

いの祈り 天のお父様、命であり、光であるイエス様をこの地上におつかわしください感謝します。信じて従っていきます。

## 12月8日(木)

聖書  
聖句

ヨハネ1・9~11

この方はご自分のところに来られたのに、ご自分の民はこの方を受け入れなかった。 11節

あなたが「オギャーッ!」って生まれた時、お父さんもお母さんも、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄さん、お姉さんもしっかり喜んで、「ウエルカムー!」って、大歓迎だったにちがいません。お家の人に聞いてみてください。イエス様の時はどうだったでしょうね? 残念ながらウエルカムではありませんでした。ここで自分の民と書かれているユダヤ人たちは、イエス様を受け入れなかったばかりか十字架につけてしまいました。今も受け入れていないのです。

いの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様を受け入れない人たちがいることを知りました。私は受け入れたいです。

## 12月9日(金)

聖書  
聖句

ヨハネ1・12~13

この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。 12節

しかし、がっかりすることはありません。光なるイエス様を受け入れた人々、イエス様のお名前、つまり救い主を信じた人々が次々と起こってきているからです。あなたもその中の一人ですか? そのような人々には、「神の子」となる力、特権をイエス様が与えてくださるのです。すごいですね、「神の子」ですよ! 血すじとか、人間の欲とかによって生まれたのではなく、ただ純粋に神様によって生まれた「神の子」なのです。父なる神様ありがとうございます!

いの祈り 天のお父様、あなたのひとり子イエス様を信じ受け入れる時、私も神の子としてくださって、感謝いたします。

## 12月10日(土)

聖書  
聖句

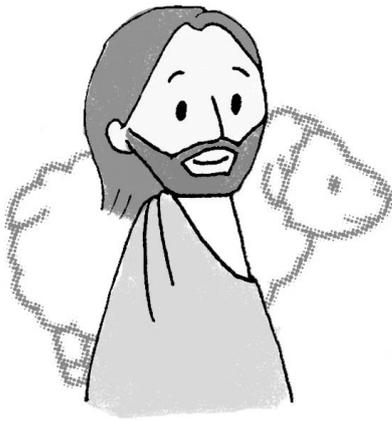
ヨハネ1・14~18

父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。 14節

「ことばなるイエス様はね、私たちと全く同じ肉体をもつ人となって、私たちの中に来てくださったんだよ。でもねイエス様は栄光に輝いておられるんだ。まぶしいくらいにね。それはかがや天におられる父のひとり子としての栄光。そう、めぐみとまことに満ちた栄光なんだよ」と愛の弟子ヨハネは言います。愛とやさしさと真実がイエス様の中であふれ出て、栄光に包まれておられたのですね。私たちもみことばを心に覚え、お祈りしてそんな人になりたいね。

いの祈り 天のお父様、イエス様のように、あなたの栄光を輝かせていける、神の子として生きていきたいと祈ります。

Ⅲアドベント



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 1・29~37  
神の子羊なるキリスト  
見よ、世の罪を取り除く神の子羊。

ヨハネ 1・29

目標

神の子羊であるキリストを信じ、罪の赦しをいただく。

12月11日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・29~37

見よ、世の罪を取り除く神の子羊。  
29節

初めてのお友だちと会う時、お互いに「自己紹介」をします。ちょっと恥ずかしくて苦手、という人もいますか。他の人を紹介してあげるのを「他己紹介」と言います。おもしろいひびきだけど！バプテスマのヨハネさんはここで、イエス様が自分の方に歩いてこられるのを見て、イエス様の「他己紹介」をしたのでした。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。」とね。それにしてもとてもめずらしく、不思議な紹介だと思いませんか。今週、それを調べてみましょう。

いの祈り

天のお父様、イエス様が「世の罪を取り除く神の子羊」であることが、よくわかって信じられるようにしてください。

12月12日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 1・24~28

私は水でバプテスマを授けていますが、あなたがたの中に、あなたがたの知らない方が立っておられます。  
26節

「知らない人について行ったらいけませんよ！」って、今頃はうるさいほど言われますね。ここに登場する「知らない人」とは、何と！イエス様ではありませんか！バプテスマのヨハネも「私自身もこの方を知りませんでした」(31)と言っていますし、そこにいたみんなも「知らない人」イエス様でした。30才になるまでは、お父さんのヨセフの大工仕事をお手伝いしていましたから、知られていなかったのですね。ヨハネの紹介で知られていくのです。

いの祈り

天のお父様、私も誰かにちゃんと教えてもらわないと、イエス様のことがよくわかりません。教えてください。

12月13日(火)

聖書  
聖句

マタイ 3・13~17

すると見よ、天が開け、神の御霊が鳩のようにご自分の上に降って来られるのをご覧になった。  
16節

もうあなたは洗礼を受けましたか？ここは、イエス様が洗礼を受けられた場面です。バプテスマのヨハネは、「逆ではないですか。わたしこそあなたから洗礼を受けるはずですよ」と言うので、「ちゃんと正しいことをしたいので今は授けてください」と言われるイエス様に、ヨハネはヨルダン川で洗礼を受けました。すると、天から神の御霊がはどのようにイエス様の上にくだり「これはわたしの愛する子」と、天の父の声が聞こえてきたではありませんか！

いの祈り

天のお父様、あなたの御子イエス様の洗礼は、本当に特別なものであったことがよくわかりました。

## 12月14日(水)

聖書  
聖句

ヨハネ1・29～34

御霊が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを私は見ました。 32節

わたしたちが、この眼で見るものや心の眼で見るもので、一生涯、心と頭の中に焼きついていて消えない、忘れないものっていくつかあるでしょう。あなたにもありますか？ パプテスマのヨハネさんにとっては、きっとイエス様の洗礼式だったと思います。「御霊が鳩のように天から降って」イエス様の上にとどまった！ 父なる神様のお言葉(33)を思い出し、「ああ、この方だ、この方こそ神の子だ」と信じ、あかししました。ヨハネは光栄に震えましたね。

いの祈り

天のお父様、あなたのひとり子イエス様に洗礼をさずけたヨハネの感動が、私の心にも強く伝わってきます。

## 12月15日(木)

聖書  
聖句

マタイ27・45～50

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 46節

「世の罪を取り除く神の子羊」という紹介のとおりイエス様は、終わりに十字架にかかってくださいました。

33才という若さで、昔、子羊が人間の罪を負って、焼かれて、殺されるという儀式がありました。その子羊のように、イエス様は「神の子羊」として、十字架の上に犠牲のささげものとなってくださったのです。十字架の上での七つのみことばのまん中、四番目のこのみことばで、私たちの罪を負い、神様から完全に捨てられたのがわかります。

いの祈り

天のお父様、イエス様の叫びに、「それは私のためです」と、全人類が叫ばなければならないことを知りました。

## 12月16日(金)

聖書  
聖句

ヨハネ19・28～30

イエスは酸いぶどう酒を受けると、「完了した」と言われた。そして、頭を垂れて霊をお渡しになった。 30節

子羊が一匹でも、刺されて血を流して死んでいくのを見るのはつらいことです。私の罪の身代わりだと思えば、よけいにね。イエス様は、一つも罪を犯されなかったのに、わたしに代わって、十字架にかかってください、両手両足、頭からも大量の血を流してくださいました。罪のない血を！ 十字架の上で。六番目におっしゃった、今日のみことばは「完了した！ やり遂げた！」という叫びで、イエス様の血のゆえに、完全に罪が赦される道が開かれたのです。

いの祈り

天のお父様、罪とは何と恐ろしいものでしょう！ 私の罪を取り除いてくださる神の子羊イエス様を感謝します。

## 12月17日(土)

聖書  
聖句

I ヨハネ1・5～10

御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださいます。7節

罪ほど私たちの心を暗くし、重くし、苦しくし、みじめにするものはありません。自分の力や、ましてや他の人の力ではどうにもなりません。だから、神様が「世の罪を取り除く神の子羊」イエス様をこの地上に、私のために送ってくださったのです。罪を告白して(9)、赦していただきましょう。もし失敗したとしても、またおおびして赦してもらいましょう。「きよめつづける」血潮を信じましょう。罪を犯したくない心にしていただきましょう。

いの祈り

天のお父様、あなたのひとり子イエス様による罪の赦しをありがとうございます。いつもきよく歩めますように。

IVアドベント



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ヨハネ 2・1~11  
カナの結婚式  
イエスはこれを最初のしるしとしてガリラヤのカナで行い、ご自分の栄光を現された。

ヨハネ 2・11

目標

キリストによる変革を体験する者となる。

12月18日(日)

聖書  
聖句

ヨハネ 2・1~11  
あなたは良いぶどう酒を今まで取っておきました。 10節

お酒には縁のない私たちですが、きょうのお話しはすごく興味深いですよ。結婚式の裏方で起こったできごとです。宴会の世話役さんがなめたお酒は、超とびきり上等のお酒で、すっかり感心して、花婿さんに、「普通、みんなに酔いが回ったころにはおいしくないのを出すのに、こんなよいぶどう酒をとっておいたのですね」と言いました。花婿さんはポカーン！実は、この超とびきり上等のぶどう酒は、元は水だったのだ！今週はそのカラクリを探ることにしましょう。

祈り 天のお父様、イエス様によって水がぶどう酒に変えられたように、私たちの心と生活も素晴らしく変えてください。

12月19日(月)

聖書  
聖句

ヨハネ 2・1~2  
イエスも弟子たちも、その婚礼に招かれていた。 2節

結婚式をするのはいろいろと大変のようですよ。誰をお招きするのかというのも頭を悩ませますのかもしれない。ガリラヤのカナで行われた婚礼は、もしかしたら、イエス様のお母さんのマリアの親戚の人だったのかもしれない。マリアさんは裏方でご奉仕していたようです。そこに、イエス様も、弟子たちも招かれました。新しいカップルは実は一番大切な人を招きました。そう、イエス様です。どんな集まりでもまずはイエス様をお招きしましょう。

祈り 天のお父様、イエス様のみ名で集まる所には、イエス様も必ずいてくださるとの約束を感謝します(マタイ 18・20)。

12月20日(火)

聖書  
聖句

ヨハネ 2・3~4  
ぶどう酒がありません。 3節

結婚式の主役は新しいカップル。そうなんですけど、やっぱりおいしいごちそうや、ユダヤでは特に心を楽しくしてくれるおいしいぶどう酒でした。ところが、よりによって、肝心のそのぶどう酒がなくなってしまったのです。祝宴はまだまだ続くというのに。母マリアはすぐにイエス様のもとに行って告げました。マリアさんは、一番いいことをしたのです。たとえそのときイエス様から冷たくひびく言葉を聞いたとしてもです。何でもイエス様に告げましょう！

祈り 天のお父様、私たちも困った時や、不安なことやわからない時、何でもイエス様のもとにもっていきます。

# 12月21日(水)



ヨハネ 2・5~7

あの方が言われることは、何でもしてくだい。 5節

「わたしの時は、まだきていません」とイエス様に言われても、マリアさんは何のその、すぐにそこにいた僕たちに言いました。「このかたが、あなたがたに言いつけることは、なんでもして下さい」。マリアさんもスゴイけど、この僕たちもアップレ！ でっかい石の水がめ六つに水をいっぱい入れなさいとイエス様から言われて、「彼らは水がめを縁までいっぱいにした」のでした。言いつけられたことはなんでもしたのです。とても立派でしたね。

いの祈り

天のお父様、マリアさんのような信仰と、僕たちのような素直な従順をあなたは喜ばれることがわかりました。

# 12月22日(木)



ヨハネ 2・8

さあ、それを汲んで、宴会の世話役のところに持って行きなさい。 8節

さあ、もしあなただったら、こんな時どうするでしょう？ さきほど、かめの縁まで入れた水です。たしかに水でした。それをくんで、宴会の世話役のところに持って行きなさいと、イエス様は言われます。「あの、イエス様、これって、水なんですけど……」なんて言いたくなるのかな？ ところが、「彼らは持って行った」とあるではありませんか！ とにかく、言いつけられたことはなんでもすると、彼らはマリアさんの言葉にしっかり従いました。

いの祈り

天のお父様、隠れた見えない所で名もない僕たちの素晴らしい従順の姿が光っています。とても教えられます。

# 12月23日(金)



ヨハネ 2・9~10

汲んだ給仕の者たちはそれがどこから来たのかを知っていた…。 9節

「ウワーオ！ 何という、今まで味わったこともないような超とびきり上等のぶどう酒ではないか。どこからこんなおいしいものが来たんだ？」と、一口なめた宴会の世話役は感動、感心しました。そして花婿さんにおほめの言葉をかけたわけです。しかし、もちろん花婿さんにもわかりません。ただし、汲んだ給仕の者たちは知っていたのです。アッ！ イエス様だ！ イエス様のなされた奇跡のみわざだとね。従う者に神様はシークレット(秘密)を知らせてくださいます。

いの祈り

天のお父様、あなたのみ言葉にすなおに従うことがどんなに大きな祝福になるか、身をもって体験したいです。

# 12月24日(土)



ヨハネ 2・11

イエスはこれを最初のしるしとしてガリラヤのカナで行い、ご自分の栄光を現された。 11節

水がぶどう酒に変えられた奇跡、これはイエス様の最初のしるしでした。今もイエス様の言葉を信じて、従う人の心と魂と生涯をイエス様は変えてくださいます。水のような味気ない日々を、感謝と感動の日々に、水のような冷たく味のない心を、ぶどう酒のような豊かな味わいのある心にな。イエス様を信じて新しく造り変えられた人は、神様の栄光をあらわすのです。最後のしるしは、やがて天で行われる子羊の婚宴です。栄光の大集合ですね。

いの祈り

天のお父様、明日はこの素晴らしいイエス様のお生まれをお祝いするクリスマスの聖日です。たくさんの人々と心からお祝いできますよう！

クリスマス・年末感謝



**聖書** ヨハネ 3・16~21  
**テーマ** 最高のプレゼント  
**暗唱聖句** 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。  
ヨハネ 3・16  
**目標** 神の御子イエス・キリストを救い主と信じ、永遠の命を得る。

## 12月25日(日)

**聖書** ヨハネ 3・16  
**聖句** 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。 16節

2022年のクリスマス、おめでとうございます！ きょうはクリスマス礼拝。その中で洗礼を受けるお友だちがいたら、二重におめでとう!! 25日の朝が楽しみだなあとおもっていませんか？ クリスマス・プレゼントの朝ですものね。最高のクリスマス・プレゼントをもう受け取っていますか？ それは、神のひとり子、救い主イエス様のことです。このプレゼントを心から感謝して信じて受け入れてはじめて、クリスマスおめでとうと言えるのですね。

**いの祈り** 天のお父様、あなたからのクリスマス・プレゼントであるイエス様を、私の救い主として信じて受け取ります。

## 12月26日(月)

**聖書** ヨハネ 3・16  
**聖句** 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。 16節

今週は、日曜日から金曜日まで、毎日同じみことばです。しっかり心に刻めますね。みことばのひとつひとつを味わいます。すべての言葉は、「最も偉大な」がつけられる言葉なのです。まずは『神』です。このお方は、「最も偉大な愛のお方」ですね。『神は愛です』というのが聖書の中心的なみことばです。愛をもって、世界を造り、私たち人間を造り、愛をもって、今も宇宙を支え、私たちひとりびとりを導いてくださいます。その愛は永遠です。

**いの祈り** 天のお父様、本当にあなたは、「最も偉大な愛のお方」です。あなたを信じて、喜んで、本当に幸せです。

## 12月27日(火)

**聖書** ヨハネ 3・16  
**聖句** 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。 16節

きょうの言葉は、『そのひとり子』です。これは「最も偉大な贈りもの」です。あなたは何人兄弟、何人姉妹なのかな？ ふたり、3人、5人、7人！ それともひとりっ子？ 子どもがたとえ何人いたとしても、親にとっては、ひとりひとりがかけがえのない大切な存在なのです。それがもし『ひとり子』だったとしたら、どんなに大切なことか！ 神様にとってたったひとりの御子イエス・キリストを神様はプレゼントとしてくださいました。「最も偉大な贈りもの」でした。

**いの祈り** 天のお父様、あなたにとっては本当にかかけがえのない大切な『ひとり子』をお与えくださって感謝いたします。

## 12月28日(水)



ヨハネ3・16

神は、実に、そのひとり子をお与え  
になったほどに世を愛された。 16節

きょうの言葉は、『お与えになった』という  
言葉になりますね。わかりやすく言えば『与え  
てくださった』ということです。これは、「最  
も偉大な行い」ということになります。う～  
ん、与えることより、やっぱり、与えられる、  
つまり、もらっちゃう方がいいかと、みんな考  
えるでしょう。クリスマスはプレゼントをもら  
う日、とね。そういう人々の考えの中で『与え  
る』ということは本当に、「最も偉大な行い」  
なのです。

いの  
祈り

天のお父様、もらうことばかり考える私  
たちのために、あなたは最も偉大な行い  
をなさってください、感謝します。

## 12月29日(木)



ヨハネ3・16

神は、実に、そのひとり子をお与え  
になったほどに世を愛された。 16節

さて、きょうはまた次の言葉です。『世』これ  
は、「最も大きな数」と言えるでしょう。今ま  
で地球上にいたすべての人々、全世界の人々、  
これからこの世に生れてくるすべての人々とい  
うのですから、ほんとうに最も多い数です。  
神様はすべての人を愛してくださるのです。  
大切なひとり子を与えてくださるほどに。すべ  
ての人、そして、ひとり、ひとりです。『世』の  
代わりにあなたの名前を入れて、きょうのみこ  
とばを暗唱してくださいね。

いの  
祈り

天のお父様、大勢の中で、かき消されそう  
ですが、この「私」を愛していただき  
ることを信じられ感謝です。

## 12月30日(金)



ヨハネ3・16

神は、実に、そのひとり子をお与え  
になったほどに世を愛された。 16節

そして、『愛』してくださったのです。これ  
は、「最も偉大な限度まで」の愛なのです。私  
たちが仲良くしたり、好きになったりするお友  
だちって、どんな子たちでしょう？ 私に親切  
にしてくれたり、やさしくしてくれるお友だち  
でしょう？ 神様は、どんな人間を愛してくだ  
さったのか考えてみたことがありますか？  
「神様なんか」って背中を向けたり、罪ばかり  
犯し続けている、そんな私たちを愛してくだ  
さるのです！ 最大級の犠牲を払ってくだ  
さってね。

いの  
祈り

天のお父様、人間の中には本当の愛はあ  
りません。あなたが愛して下さって初  
めて愛を知ることができました。

## 12月31日(土)



ヨハネ3・16

それは御子を信じる者が、一人とし  
て滅びることなく、永遠のいのちを持  
つためである。 16節

最後に、『永遠のいのち』という言葉です。こ  
れは、「最も偉大な持ちもの」と言えます。あ  
るいは、「最も偉大ないのち」です。あなたが  
「オギャー」と生れて、そのままのいのちだっ  
たら、その命は滅びていくいのちですよ。でも、  
罪がわかって、イエス様の十字架が私の罪の  
身代わりだったんだと、罪をおわびして、イエ  
ス様を信じたら、その時、新しい神様のいのち、  
滅びない永遠のいのち、罪を犯せない清いいの  
ちがもらえます。たとい一度死んでもよみがえ  
るいのちですよ！

いの  
祈り

天のお父様、何という驚くべき、あなた  
からのクリスマス・プレゼントでしょう！  
救い主イエス様を信じます。